

24春	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
1	日本語1総合A	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	月曜・2限	N313	予測を立てながら調査し、自分の欲しい答えを手に行き届ける。すべての学びを通して、クラスメートと協力して振り返り、各自の実践を振り返らせていく。	「今の社会をよくするために、すぐできること」を、①自分②自分とだれか③社会(あるいはコミュニティ)の3つの段階について具体的なアイデアを見つけていくことを目指す。 内容、発表、振り返り(内容・方法・日本語・スライド)、改善して発表というプロセスで行う。 この段階においても、クラスメート同士でアイデア交換、アドバイスし合うなどの協力をしながら進めていく。特に、振り返りから改善点を生かした2回目の発表は、スライド、原稿ともに、チームで取り組み完成させる。	プリント配布	平常点(出席・チームの協力への参加度など)50%、提出物50%
	日本語1会話A1	工藤 聖子 (くどう せいこ)	火曜・2限	N305	複雑で、抽象的なことが話せ、相手や場面に応じた適切な話し方ができる。まとまった内容の抽象的な話、専門的な話が理解できるようになる。	日本語によるポスター発表、PPT発表、スピーチ等を行う。グループでの調査や、日本人学生に対するインタビュー活動を通して収集したデータや情報をまとめ、効果的なプレゼンテーションを選択し、構成、発表する。テーマは受講生の関心に応じて設定する。母語と日本語を併用して話し合えるようになる。すべての学びを通して、互いに協力することで、より多くの実りを得る。	プリント配布	スピーチ20%、PPT発表20%、レポート20%、平常点(出席・参加度・振り返りシートの提出等)40%
	日本語1会話A2	荒巻 朋子 (あらかまき ともこ)	木曜・3限	M313	複雑で、抽象的なことが話せ、相手や場面に応じた適切な話し方ができる。まとまった内容の抽象的な話、専門的な話が理解できるようになる。	敬語などを使った日常会話がスムーズに行えるような活動や日本人相手のインタビュー活動を行う。またテーマを決めてプレゼンテーションやディスカッションなども行う。学期中に発表、試験がある。	プリント配布	試験・クイズ20%、課題・発表50%、授業参加度30%
	日本語1講義A	新谷 あゆり (しんや あゆり)	金曜・2限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが読めるようになる。	小説『60』金城一紀を1冊読む。時代・社会背景を考えながら登場人物の気持ちや展開を理解する。語彙を強化するために漢字の読みと語彙テストも行う。	『60』 金城一紀 角川文庫	平常点(出席・参加度など)20%、課題40%、小テスト・期末テスト40%
	日本語1作文A1	横山 和子 (よこやま かずこ)	月曜・3限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが書けるようになる。	・各自テーマ(=伝えたい事柄)を決めて論理的な文章を書いていく。具体的には説明文、意見文を中心にこれらに必要な表現(図表の説明の仕方、引用の仕方、など)を学ぶ予定であるが、受講生のニーズによっては論文作成に関する事柄も扱う可能性がある。 ・授業では各自書いた作文をお互いに読み合い、意見交換をすることで、自己修正力やテーマについての理解を深める。	プリント配布	授業への参加度20%、課題提出30%、文章50%(内容・日本語の正確さ)
	日本語1作文A2	斎藤 敬太 (さいとう けいた)	金曜・3限	N305	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが書けるようになる。	レポートや論文といった学術的な文章を書く際に必要なプロセスを学び、実際に書いていく。最終的にはこの授業で学んだことを活かしてレポートを書く。	プリント配布	授業参加度30%、課題提出20%、期末レポート50%
	日本語1文法A	岡 智之 (おか ともゆき)	水曜・1限		上級の文法項目を習得する。	テキストの第2部1課から毎回2課ずつ進み、26課あたりまで進む予定。毎回最後の「話してみよう」は宿題にし、次の回で発表してもらう。	『マンガで学ぶ日本語上級表現使い分け100』アルク	授業参加度30%、課題提出20%、期末テスト50%
	日本語1漢字A	坂田 聡深 (さかた ともみ)	火曜・1限	N313	1000字程度の漢字およびそれを使った語彙の運用力をつける。	テキストの奇数課(1, 3, 5, 7, 9, 11, 13課)から5~6課を学習予定。『力だめし』『要点』『練習』を中心に学習。『課題』部分は行わない。各課の終了後、指定範囲から漢字のクイズを行う。そのクイズを中心に期末テストを行う。教出の漢字を3つ挙げて、自分なりの覚え方、興味のある漢字とその理由についての発表も行う予定。	『Intermediate Kanji Book, Vol.2』(凡人社)	課題(教科書の「練習」等)40%、各課のクイズ30%、期末テスト20%、平常点10%
	日本語1聴解A	新谷 あゆり (しんや あゆり)	金曜・2限	N313	複雑で抽象的な話の流れが聞き取れるようになる。	ニュース、インタビュー、講義などを聞き内容を理解する。内容をまとめ、発表する。	プリント配布	平常点30%、課題30%、試験40%
	日本語1特別演習A 【ドラマで学ぶ日本語】	宮本 典以子 (みやもと 典子)	水曜・2限	N313	まとまった内容の抽象的な話の流れが理解できるようになる。自分の考えを伝えることができるようになる。	日本のドラマや映画の鑑賞を通して「話し言葉」を実践的に学ぶ。学園に限らず、ビジネスやキャリア等さまざまなジャンルの作品を扱う。言語表現はピア活動等で学ぶ予定。 ・毎回課題シート提出。内容に関する問いに解答し、振り返りコメントを記入。 ・ドラマに関する発表や交流も1回以上実施予定。発表後は発表資料等を提出。	プリント配布	提出物(課題シート、発表資料等)50%、授業参加度(振り返りコメント、ピア発表、発表・交流活動等)50%
	日本語1特別演習A 【ビジネスで学ぶ日本語】	福島 恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・2限	N313	ビジネスに必要な日本語の表現を身につけ、日本語を使用するビジネス場面で求められるコミュニケーション能力を養う。	・日本での就職活動に必要なエントリーシートの書き方や面接の受け方などから始め、その後、仕事をすすめる上で必要な報告、連絡、感謝、謝罪、企画などの少し複雑なコミュニケーションについて学習する。また、ビジネス文書、ビジネスメールについても学習する。 ・7月に発表を行うが、テーマについては相談して決める。	プリント配布	授業参加度(出席・発表態度)40%、期末テスト20%、発表20%、課題(宿題を含む)20%
	日本語2総合A	横山 和子 (よこやま かずこ)	月曜・2限	N405	他者との考えや意見のやりとりを通して、「自分の考え」を自分自身でつかみ、他者にわかるように表現していくという形で、日本語での表現力をつけていく。	・「好きな言葉」「若者」「日本の外国人」の3つのテーマで、図書、新聞記事、統計資料などを読み、現代日本社会についての理解を深める。内容を予測しながら文章を読む力、読みとった内容を日本語で表現する力、物事に対する自分の意見を論理的に述べる力をつけることを目指す。また、テーマごとに、発表やディスカッションなどの活動を行う。 ・秋学期は22年秋学期とは異なるので、23年秋学期の受講者にとって学習内容が重なることはない。	プリント配布	授業への積極性50%、活動(内容・日本語)50%
	日本語2会話A	坂田 聡深 (さかた ともみ)	火曜・2限	N313	自分の考えや気持ちを伝えることができるようになる。「自分の考え」を自分自身でつかみ、他者にわかるように表現していくという形で、日本語での表現力をつけていく。	テキストを中心にペア、グループワークを中心に活動を行う。5つの大きなテーマについて、テキストなどの内容をペアで再読、ペアでグループの説明、グループディスカッション、個人スピーチを行う予定。毎回内容確認クイズ、次の回に語彙・表現クイズの流れで授業を進めていく。最後は、パワーポイントを使った、グラフ説明なども加えた5分以上のプレゼンテーションを行う。	『新訂版トピックによる日本語総合演習 中級後期』(スリーエーネットワーク)	授業の課題、参加度60%、個人スピーチ20%、プレゼンテーション20%(クラスの人数によって変更)?
	日本語2作文A1	稲田 直子 (いなだ なおこ)	木曜・3限	N305	自分の意見を述べ、待遇表現が使えるようになる。	書き言葉、敬語の練習をしながら、さまざまな文章を書く。授業では、意見文、メールなど、お手本となる文章を分析しながら書く練習をする。書いた文章はクラスメートと読み合い、コメントし合う。授業中はパソコンを使って文章を書くので、パソコンを持参すること。	プリント配布	授業参加度(出席・話し合いへの参加)30%、宿題30%、クイズ10%、期末課題30%
日本語2作文A2	許 夏玲 (ふい はりりん)	金曜・1限	N305	自分の意見を述べ、待遇表現が使えるようになる。	様々な文章のスタイル、書き方を学ぶと同時に、日本語の文章を書くために必要なルールや表現を学ぶ。課外の時間で大学のウェブサイトの「レポートフォーラム」を用いて、ディスカッションを行うことができる。	プリント配布	授業への参加度(出席含む)50%、宿題30%、課題レポート20%	
日本語2文法A	稲田 直子 (いなだ なおこ)	水曜・2限	N405	中級後半～上級の文法項目を習得する。	文法を学ぶ際に重要な概念を復習しながら、中級文法を学んでいく。新しい文法項目は予習しておくこととし、授業中はポイントを確認したり、クラスメートと考えた例文を検討したりといった活動を中心に行う。課題の提出等にはパソコンを使用する。	『どんだん使える!日本語文型トレーニング 中級』凡人社	授業参加度(出席・話し合いへの参加)20%、宿題30%、クイズ20%、期末試験30%	
2	日本語2漢字A	石崎 晶子 (いしざき あきこ)	火曜・1限	N405	750字程度の漢字とその漢字を使ったことばを学習し、活用できるようにする。	漢字の意味とその漢字を使ったことばの意味と使い方を学んでいく。今学期は、教科書の第2課、第4課、第6課、第8課、第10課を、だいたい2回で1課学習する予定。 クラスでは漢字から語彙を広げたり、漢字語彙を使った文を作るなどの活動を中心にする。毎回、クイズを行う。	『Intermediate Kanji Book 漢字 1000 Plus, Vol.1』凡人社	クイズ 40%、課題 40%、授業参加度 20%
	日本語2講義A	荒巻 朋子 (あらかまき ともこ)	木曜・2限	N405	具体的な文章内容で、ある程度の長さの文章が読めるようになる。	意見文、説明文、お知らせ、エッセイ、小説等様々な形式の少し高度な文章を読み、内容を正確に理解し、表現や漢字も学ぶ。また課題発表、試験も実施する。	プリント配布	試験・クイズ40%、課題(発表)30%、授業参加度30%
	日本語2聴解A	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・2限	N405	具体的なまとまった話の流れが理解でき、抽象的なものも読めるようになる。	「日本語が理解できた」から「テーマへの理解が深くなった」と自分で思えるような聞き方を目指す。そのために、「ことば」や「表現」「文法」を理解する聞き方ではなく「情報を取得できる」聞き方へと発展させていく。 具体的には、 ①聞いた内容について自分で質問を考える ②答えを予想 ③ディスカッションするという3つのプロセスをクラスメートと協力して繰り返していく。	プリント配布・サイト紹介・参考資料紹介	平常点(出席・授業時の課題提出・話し合いへの参加度)50% 授業外の課題への取り組みと提出50%

3	日本語2特別演習A [マンガで学ぶ日本語]	宮本 典子 (みやもと ていこ)	水曜・1限	N313	話し言葉やマンガ特有の表現が理解できるようにする。	日本のマンガの鑑賞(かんしょう)を通して、話し言葉を実践的に学ぶ。学園以外にもファンタジーやミステリー等さまざまなジャンルの作品を取り扱う予定。言語表現はピア活動等で学ぶ。 ・授業の始めに「マンガ多読タイム」を取る。読後、記録シート記入。 ・また毎回、課題シートを提出。 ・日本のマンガやアニメに関する発表も1回行う。発表後、発表資料提出。	プリント配布	提出物(課題シート、多読シート、発表資料等)50%、授業参加(振り返りコメント、ピア活動、発表・交流活動等)50%
	日本語2特別演習A [ビジネスで学ぶ日本語]	福島 恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・1限	N313	・ビジネス場面で使用される敬語表現が使えるようになる。 ・ビジネス場面において、どのような会話をするかを理解し、基本的な会話ができるようになる。	・ビジネス場面の人間関係や場を考えたうえで、敬語表現について学習する。 ・ビジネス場面での自己紹介、基本的な電話応対、アポイントの取り方、許可求めの仕方などについて学習し、実践につながる練習をする。 ・7月に発表を行うが、テーマについては相談して決める。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)40%、期末テスト20%、発表20%、課題(宿題を含む)20%
	日本語2/3特別演習A [多読]	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・3限	N313	「多読TADOKU」の特徴を理解し、実践することで、日本語をより母語に近い使い方ができるようになることを目指す	「勉強するモード」から「自分のことばとして使うモード」への切り替えができるようになることを目指す。 ①単語の意味や文法を気にしないで、「書かれている内容」について自分の中で対話できるように読む ②同じ場面でも、一人一人の理解が多種多様であることが実感できるよう、読み物などを通じた対話のワークを行う ③学期末プロジェクト「発表」:「勉強するモード」と「自分のことばとして使うモード」のちがいに、自由に発表する(ストーリー・動画・ゲーム・音楽・絵などの創作・今学期の取り組みへの感想・読み物紹介など、なんでもよい)	教室に準備してある多読用の読み物 多読に適したサイト紹介など	平常点(出席・多読としての読み・ワークへの取り組み)40%、読書記録シート提出30%、学期末プロジェクト30%
	日本語3総合A1	笹目 実 (ささめ みのり)	水曜・1限	N305	以下の初中級レベルのことができるようになる。①20行程度の長さの読みものが読めるようになる。②ある程度の長さの文章が聞けるようになる。③テーマに沿って二人で会話ができるようになる。	説明文を読み大意をつかみ、質問に答える。説明文を聞き、()に言葉を書く。初中級レベルで学ぶ言葉を理解する。語彙を増加する。言葉の練習問題を解く。テーマに沿って、2人で話しあったり、みんなで話しあったりする。	平井(ひらい)悦子(えつこ)・三輪(みわ)さち子(こ)『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 56 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク	授業参加度40%、クイズ40%、課題20%
	日本語3総合A2	笹目 実 (ささめ みのり)	水曜・2限	N305	以下の初中級レベルのことができるようになる。①文法項目が理解できるようにする。②テーマに沿って書いて書けるようになる。	50項目程度の初中級レベルの文法や文型を、文を通して学ぶ。文法や文型の練習問題を解く。指定された文法や文型を使い、数行の作文を書く。テーマを決めて、文章構成を持った文章を書く。	平井(ひらい)悦子(えつこ)・三輪(みわ)さち子(こ)『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 58 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク	授業参加度40%、クイズ40%、課題20%
	日本語3会話A	李 琦 (り き)	火曜・1限	N305	具体的なことが説明できるようになる。日常的で具体的な談話が理解できるようにする。	シャドーイングやロールプレイを通じて会話を練習します。さらに、日常生活でよくある場面を想定(そうじょう)し、買い物やレストランでの注文などの会話練習も行います。スピーキングの練習を通じて、円滑(えんかつ)な会話ができるようになることを目指します。	プリント配布(はいふ)	授業参加度50%、期末テスト50%
	日本語3講読A	許 夏玲 (ふい はーりん)	木曜・2限	N302	日常的で長くない文章が読めるようになる。	エッセイや新聞記事(しんぶんきじ)、物語(ものがたり)など様々な文章を読む力、また社会的なテーマについて自分で考えていく力を身につけることを目標(もくひょう)としています。	『日本語学習者のための読解厳選テーマ10【中級】』凡人社	授業への参加度(出席含む)60%、課題40%
	日本語3作文A	江口 典子 (えぐち のりこ)	金曜・2限	N305	具体的に、ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	日本語作文のルールを学びながら、読み手に伝わる文章を書けるようになる。作文のアイデアを話し合ったり、チェックされた作文を書き直す練習をする。	プリント配布(はいふ)	授業参加度50%、課題提出50%
	日本語3文法A	小池 恵巳子 (こいけ えみこ)	木曜・1限	N305	中級前半の文法項目を習得する。	まちがえやすい初級文法(しよきゆうぜんぽう)を復習(ふくしゅう)し、中級前半(ちゆうきゆうぜんはん)の文法を勉強(べんきょう)します。似(に)ている文法や表現(ひょうげん)のちがいにグループで考えたり、みなさんが調(しら)べたことを発表(はっぴょう)したりします。文法がわかるだけでなく、使えるようにしましょう。	プリント配布(はいふ)	テスト40%、小テスト20%、宿題・提出物(しゅくだい・ていしゅつぶつ)20%、授業への参加度【出席(しゅせき)、学習(がくしゆ)グループ活動(かつどう)へのとりくみ、発表(はっぴょう)】20%
	日本語3漢字A	伊能 裕晃 (いのう ひろあき)	月曜・2限	N305	基本(きほん)漢字400~500を学ぶ。	漢字の書き方、読み方、使い方を勉強(べんきょう)します。漢字について自分で調べてく宿題(しゅくだい)があります。毎回、小テストをします。	□(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.2(第2版) 凡人社	授業への参加度30%、宿題20%、試験50%
日本語3聴解A	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	月曜・1限	N305	日常的で具体的な談話が理解できるようにする。	①毎日日本語を聞く習慣(しゅうかん)を作る →毎回、授業の最初(さいしょ)に、自分がやった「宿題」について、クイズ形式(けいしき)でおしやべりする ②日本語の音(ね)や言い方(いひかた)の特徴(とくちょう)を知り、聞き取りにくい音(ね)があっても内容を推測(すいそく)できるようにする	プリント配布(はいふ)・サイト紹介(しょうかい)	授業活動(じゅぎょうかつどう)への参加度(さんかど)40%、宿題(しゅくだい)40%、クイズ20%	
4	日本語4総合(文法)A1-4	今井 美登里 (いまい みどり) 宮本 典子 (みやもと ていこ)	火曜・1・2限 木曜・1・2限	N310	初級後半の文法項目(ぶんぽうこうもく)を習得(しゅうとく)する。	テキストを使って、初級後半の語彙(ごい)や文法項目(ぶんぽうこうもく)を理解(りかい)し、使えるように練習(れんしゅう)する。	『できる日本語 初中級 本冊』アルク 『できる日本語 初中級 わたしの文法ノート』凡人社	授業活動(じゅぎょうかつどう)への参加度(さんかど)40%、宿題(しゅくだい)10%、テスト・クイズ50%
	日本語4漢字A	江口 典子 (えぐち のりこ)	金曜・1限	N310	基本(きほん)漢字(かんじ)300~400を学ぶ。	漢字(かんじ)の読(よ)みと書(か)きと意味(いみ)の練習(れんしゅう)をします。1回(かい)に課(か)勉強(べんきょう)します。毎回(まいかい)、小(しょう)テストをします。	□(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.2(第2版)	授業参加度(じゅぎょうさんかど)30%、小テスト30%、期末(きまつ)テスト40%
	日本語4聴解A	荒井 直美 (あらい なおみ)	水曜・2限	N310	日常(にちじょう)の短(みじか)い会話(かいわ)や、説明(せつめい)を聞(き)けるようになる。	テキストを見(み)ながら聞(き)いたり、見(み)ないで聞(き)いたりします。少(すこ)し長(なが)い会話(かいわ)や説明(せつめい)を聞(き)く練習(れんしゅう)をします。	プリントをくばります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど)60%、課題(かだい)・小テスト40%
	日本語4会話A	荒井 直美 (あらい なおみ)	金曜・2限	N310	日常(にちじょう)の会話(かいわ)コミュニケーションができるようになる。	勉強(べんきょう)した言葉(ことば)や文型(ぶんけい)を使(つか)って、いろいろな場面(ばめん)の会話(かいわ)を練習(れんしゅう)します。	プリントをくばります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど)60%、課題(かだい)・会話(かいわ)練習(れんしゅう)の取り組み(とりくみ)40%
	日本語4講読A	李 琦 (り き)	月曜・2限	N310	日常(にちじょう)で長(なが)くない文章(ぶんしょう)が読(よ)めるようになる。	日常(にちじょう)のさまざまな文章(ぶんしょう)を読(よ)みます。語彙(ごい)を増(ふ)やします。日本語(にほんご)の短(みじか)い文章(ぶんしょう)に慣(な)れます。	プリントをくばります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど)40%、課題(かだい)20%、期末(きまつ)テスト40%
	日本語4作文A	許 夏玲 (ふい はーりん)	水曜・1限	N310	ある程度まとまりのある文章が書けるようになる。	日常(にちじょう)のことをテーマにして書きます。言葉(ことば)や文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)しながら作文(ぶんしょう)を書きます。毎回(まいかい)はメインテキストの中(なか)の「読解(どくげ)聞き書き」を使って作文(ぶんしょう)を書きます。	『できる日本語 初中級 本冊』アルク(メインテキストを使います)	授業参加度(じゅぎょうさんかど)60%、課題(かだい)40%
	5	Level 5 Japanese Comprehensive (Grammar) A1-7	SUZUKI Miko, KUDOU Seiko, ARAI Naomi, KONISHI Madoka, EGUCHI Noriko	1st & 2nd periods on Monday, 1st period on Tuesday, 1st & 2nd period on Wednesday, 1st & 2nd period on Thursday	N312	To acquire basic knowledge of Japanese grammar	Learning basic Japanese grammar skills and doing practices with drills, exercises, Q & A, etc.	(1)Self-Study Kana Workbook 3A CORPORATION (2) GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition (the japan times) (3) GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese I Third Edition Work book (the japan times) (4) GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition (the japan times) (5) GENKI: An Integrated Course in Elementary Japanese II Third Edition Work book (the japan times)
Level 5 Kanji A1-2		ARAI Naomi, RI Ki	2nd period on Tuesday and 1st period on Friday	N312	To acquire basic knowledge of Japanese characters.	Learning basic Kanji and doing practices with drills, exercises, Q & A, etc.	Basic Kanji Book Vol.1 (2nd edition) (Bonjinsha)	Class participation 30%, Assignments 20%, Short Quizzes and Tests 50%